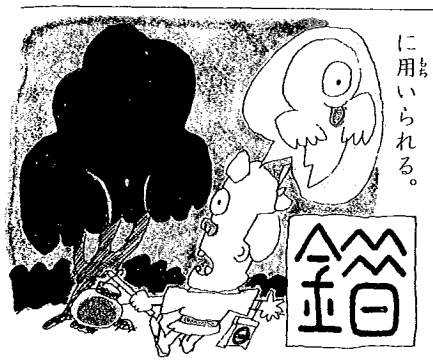
錯

16画　金 釒 鉄 鉄 鉄 鉄 錯 錯（右上へはらう）

おん　サク



なりたち　物が多く積み重なる意味の昔と金（かねへん）との会意形声字。多くの金属が入り混じっていることを表した字で、〝入り混じる・入り乱れる・間違える〟などの意味に用いられる。

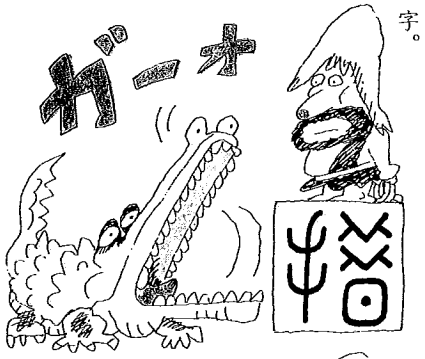
いみとじゅくご
▼入り混じる。入り乱れる。
錯雑…まとまりなく入り混じっていること。
交錯…幾つかのものが入り混じって、混乱すること。用例期待と不安が交錯する。
▼間違える。
錯誤…❶間違い。誤り。❷考えた事と事実とが食い違っていること。例時代錯誤
錯覚…❶事実と違ったように見たり聞いたりすること。❷思い違い。
失錯…失敗。「失策」と同意。
▼順序を入れ違える。
錯簡…❶本の綴（と）じ違いでページの順序が狂っていること。❷文章の順序が乱れていること。
倒錯…逆になること。ひっくり返すこと。

よみかた　錯乱

措

11画　扌 扌 扌 扌 扌 措 措（はねる）

おん　ソ



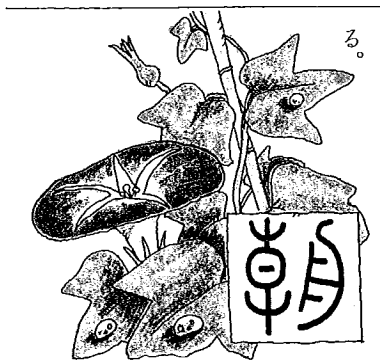
なりたち　物を多く積み重ねる意味の昔と才（てへん）との会意形声字。手で物を積み重ねる、という意味の字で、多くのものを〝処置する〟、置くべき所に〝置く〟ことを表した字。

いみとじゅくご
▼処置する。置くべき所に置く。落ち着く。
措置…処置すること。始末を付けること。取り計らうこと。また、取り計らい。処分。用例特別の措置。措置を講ずる。
挙措…立ち居振る舞い。挙動。
措辞…詩や文章の言葉の使い方。言いまわし。

朝

【2年】　12画　十 十 古 古 卓 朝 朝（はねる）

おん　チョウ
くん　あさ



なりたち　旧字体は朝。日が草原から出るさまを表した卓と、月との形声字。〝日の出のころ・あさ〟を表した字。また、〝朝廷（朝、庭前に群臣を集める、その場所）〟の意味に用いる。

いみとじゅくご
▼朝。
朝露…❶朝草などに降りている露。朝露。❷朝露のようにはかないもののたとえ。
朝令暮改…朝、命令を出し、夕方にはそれを改めること。法令などがすぐ変わって一定しないこと。
▼天子が政治を行う所。
朝廷…天子が政治を行う所。
朝野…朝廷と民間。
▼一人の天子の治世。
天武朝…天武天皇の治世。
▼一系統の天子達の治世。また、日本の天皇政治の時代区分。例奈良朝（ならちょう）
▼天子の治める国。
本朝…「日本」の古い言い方。
帰朝…外国から日本へ帰ること。

さんこう　今朝　特別なよみかた→

潮

【6年】　15画　氵 氵 氵 汐 淖 潮 潮（はねる）

おん　チョウ
くん　しお

なりたち　古い字は淖。朝の意味の昔と、氵（さんずい）との会意形声字。朝方に海水が満ちてくる現象を表した字。〝うしお・しお〟。〝上げ潮〟が潮で引き潮が汐（せ）という説と、朝潮が潮で、汐は夕潮だという説がある。

いみとじゅくご
▼上げ潮。また、潮が満ちたり引いたりする現象。
満潮…海水が満ちた状態。満ち潮。反干潮
干潮…海水が引き切った状態。引き潮。反満潮
潮騒（しおさい）…満ちて来る潮のざわめく音。
潮時…❶満潮・干潮の時刻。❷物事をするのに一番良い時のたとえ。用例決心する時。
▼時勢の流れ。移り変わり。
風潮…世の移り変わりに連れて変わって行く、時代の傾向。
思潮…その時代の一般的な思想。

よみかた　潮路・潮流・血潮

ミニ知識　潮干狩り＝三月末から五月ごろ、潮の引いた遠浅の浜辺で貝などを取ること。